

平成25年度事業「2委託事業と 恒例の主催セミナー」完了！！ 大盛況のセミナー！

事務局 鳥居 純一

H25年度セミナーは『アベノミクス予算と経済動向』と題し、それぞれ報道・中小企業・国の立場より3名が講演、『含蓄のある豊富な』内容であったと50名を超える参加者の多くから称賛の声を頂きました。

基調講演は日刊工業新聞社の曾根支社長、日本経済のマクロ的な観点より伝統文化から先端技術迄、深みのある話の内容に引き込まれた。

続く(株)新日本テック和泉社長はモノ作りの立場から、火災で焼失した自社を立て直し現在の発展に至る迄のお話はモノ作り企業の神髄を示すものとして聞く者の心に伝わった。同時に地域の企業連携組織として大阪ケイオスも立ち上げ、他社との共存共栄を図りつつ、地域の活性化に繋がるビジネスモデルを構築、実践するその行動力に驚嘆した。

最後に近畿経済産業局の児玉課長は人材育成の国としての考えを説明、グローバル人材の育成や女性、高齢者、外国人等の人材活用するダイバーシティ経営等、盛り沢山な内容であった。(セミナー会場)



一会場)

講演後の交流会では講師3名を囲んで、熱気に満ちた情報交換が行われた。

3年に及ぶオープンイノベーション事業

担当 栗野 順二郎

今年度の近畿経済産業局受託事業は、1) マッチングフォローアップ事業

2) 新規ニーズ企業を2社以上選定・マッチングの実施 3) 「西日本広域コラボ」に向けた検討会の実施 4) コーディネータ会議の実施 である。

今年度の成果は、1) 前年度取り組んだ企業5社のニーズに対し総計27件のマッチングで進行が認められた。そのシーズ紹介は、西日本広域コラボからの紹介が14件あり、その比率は52%に及んだ。2) 新規ニーズの収集・マッチングの実施では、3社からオープンイノベーション事業に興味を持たれ、各2回の訪問でニーズを出して頂いた。それらについてシーズを検索し、マッチングに結び付けようと活動中である。このシーズ検索には、全国の公的研究機関や公的支援組織が独自に構築しているデータベースを集約した技術開発支援サイト『KNOW-MA』の活用が大きく貢献した。

3) 「西日本広域コラボ」に向けた取り組みは、広島県庁、広島市などを訪問し、まず広島市産業振興センターとのコラボが実現した。4) この期間に9回のコーディネータ会議を開催し、全コーディネータが情報を共有し、マッチング活動を推進した。今年度は、事業の開始が遅れた為、マッチング活動は十分とは言えない。成果はこれからといったところである。

地域需要創造型当起業・創業促進事業審査事業

担当理事 神吉 正彌

欧米の起業・創業率は10%強ですが、我国では4%台と低く、これを10%にしようというアベノミクスの一つが創業補助金です。平成24年度補正予算として始まった創業補助金事業は3回の公募を経て6回の応募を募りましたが、大阪府では1,000件強の応募があり、300件弱の採択がありました。殆んどが国内での地域需要創造型創業であり、女性の応募が30%あったのは注目に値します。

引続き平成25年度の創業補助金も3月から始ま

KIAC 構成団体プロフィール (1)



総合技術コンサルタント集団

近畿産業技術クラスター協同組合

〒564-0027 吹田市朝日町15-24 太田ビル303号室
会員 24名

- ◆近畿産業技術クラスター協同組合(KSTC)は、先端企業出身のOB人材による専門技術者集団です。
- ◆ご要望のある企業の生産、販売、経理、技術の広範囲に亘り、課題解決に当たっています。
- ◆近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構、大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会などの公共機関の支援を受け、わかやま産業振興財団とも協調し、出身企業の協力もあり、幅広い人脈を生かして、諸問題の解決や相談にお応えしています。

沿革

平成5年 委託設計開発グループ「テラプラス」設立しました。

平成10年 活動の拡大に伴い、ものづくりコンサルタント業として、「テラテックコンサルタント」を設立しました。

平成16年 企業OBがチームを組み、中小企業を支援する「近畿産業技術クラスター協同組合」の認可を近畿経済産業局より取得・設立しました。

平成21年以来 広く、近畿、四国を中心に、中小企業の支援活動を推進展開しております。

基本理念

組合員が培ってきた技術・ノウハウをクラスターとして展開し、モノづくり産業の発展に貢献する。

最近及び現在活動中の事業

H23～25年近経局「戦略的基盤技術高度化支援事業」

- ・締付法及び締付後確認法の革新による航空機組み立ての低コスト、高信頼化用の工具開発支援
- ・和歌山産業振興財団よりの受託事業
- ・吹田地域雇用創造協議会技術セミナー
- ・門真市 中小企業サポートセンター運營業務

りました。今年度は若干スキームが変わり、補助金額は200万円に一本化され、NPO法人も対象になりました。現時点では3月24日と6月30日の2回の締切で募集を行うこととなりました。多くの起業家が生まれることを期待しています。

シリーズ・KIACに寄せて

KIACは本年度設立5年を迎えますが、設立のきっかけとなったマッチングプラサから始め様々なご指導、ご協力を賜った皆様からメッセージを頂戴しシリーズ掲載してゆきます。

近畿経済産業局 産業部長 須山 稔

仕事の中で、これまで数多くの方々と出会いました。最初は自治体や経済団体の方々が多かったのですが、徐々に民間の方々が増えていきました。

経済産業省は面白い役所で、お付き合いの幅も広く、年齢、職業、地位等様々です。大企業の幹部や中小・ベンチャー企業の経営者、大学、高校、中学の先生、伝統工芸の担い手、ミュージシャン、お笑い芸人、デザイナー、アニメーター等々様々な出会いがありました。

もちろん、反発することもありましたが、教えられることが多く、随分刺激を受けてきました。尊敬に値する人にも数多く出会ってきました。

中でも強烈だったのが、企業OBの方々（日本の高度成長を支えた企業戦士）とその社会貢献活動との出会いです。その経験の深さ、ひたむきさにはちょっとしたカルチャーショックを受けたものです。こうしてお付き合いを始めた皆様方が益々お元気で、ご活躍されることは私の大きな喜びです。

一方で、社会貢献活動は、一步間違うと「自分のやり方で、やりたいことだけやる」という独善に陥る危険性があります。それを避けるためにも、社会貢献活動がスモール・ビジネスに繋がるのが重要です。「良い商品やサービスをお客様に提供し、喜んで頂き、対価を頂戴する」というのは、どの社会でも通用するものです。

人も企業も出会いが大切です。人と人の出会い、人と企業の出会いに、KIACの皆様方が引き続き貢献されることを心より期待しております。

紹介します・・・

マッチングプラザ企業情報

担当理事 福井 英志

今年度、KIAC と商縁プラザが共催開催したプレゼン会社概要を紹介します。ご一読されプレゼン企業のマッチング先の紹介が行なえる方及びもう少し詳しくお知りになりたい方は、KIAC または商縁プラザにご一報ください。

■ 6月プレゼン会社

1. 柏原加工紙株式会社

加工紙「teshiopaper (テシオペーパー)」を中心に各種産業用加工紙、包装用紙、緩衝用紙、養生紙、路盤紙、建材用紙、防錆紙、各種産業用紙管等の製造・販売を一手に行っている。

2. 白谷電子株式会社

小型抵抗溶接機「ミニミニウエルダー」UH シリーズをメインに金属の薄板、再選に特化した小型・軽量の正殿蓄勢式パーソナル溶接機製作・販売を行っている。

この小型抵抗溶接機は、電通パルスが非常に短いためワークに対するダメージが少なく、効率的に溶接が出来るのが特徴である。

同機は、小型・軽量・コンパクト設計・100V～240V 電源対応可などワールドワイドに使用できる。

■ 8月プレゼン会社

1. 日本テクノ株式会社

キュービクル常時監視システム「SMART メーターERIA」、「SMART CLOCK」の紹介である。

電気の「見える化」を行い、単なる電気保守に留まらず、電力の運用改善を提案し、電気料金削減につなげているのが特徴である。

2. 有限会社クレアールソシオ

高反射率遮熱塗料「PLANET SUPRA」の紹介で、本塗料は、水生アクリルシリコン塗料である。また、環境に配慮して近赤外線領域で反射率 94%を誇る高反射率遮熱塗料である。

■ 10月 商品紹介

1. 株式会社 キャリア特待館

大学経営戦力コンサルティングサービスや大学経営戦力に関するアドバイスを行っている

大学経営改革に貢献できる職員を育てるSD研修の実施や、学生及び教職員にコンプライアンス

を促す危機管理研修の提供も行っている

2. 株式会社 ジーコム

翻訳・通訳サービス専門会社である。各種マニュアル・カタログ・契約書・資料類・ホームページ等を多言語に翻訳提供できる。

また、同社は世界中に翻訳ネットワークを持っており世界中の言語に適宜対応可能で高品質・短納期・リーズナブル価格での翻訳提供できる。

■ 2月 プレゼン会社

1. 株式会社 アスコエパートナーズ

同社は、行政サービスを通じて社会変革を目指す更に行政サービスを流通させる。官を頼らず民がやることをコンセプトに自治体等行政機関が提供する子育て・介護・防災など行政サービス情報データベース化して各自治体へ無料開示提供している。

全国の市区データを 100%カバーできている。

そのデータは、官/民連携型企業広告媒体と言う新しい形式で各提携市町村の方々へ無料提供できる。

2. 小金屋食品 株式会社

同社は、創業来大阪府大東市で50数年一筋に納豆製造販売している。

昔ながらの納豆本来の大豆の美味さを同社伝統の技と味で長年保ち、在阪百貨店はじめスーパーマーケットなどに卸している。昔ながらの薫の香に包まれた濃厚な大豆の味わいは逸品で、現代若者からお年寄りまで味わえる多くのバリエーション品を提供し続けている。

セミナー開催のお知らせ！

PREX 友好協定締結 1 周年記念講演

「今なぜベトナムなのか？」

1) 講演者 太平洋人材交流センター (PREX)

専務理事 北村 耕一氏

2) 講演者 富士インパルス(株) 社長 山田 邦夫氏

3) 講演者 近畿経済産業局 参事官 細川 洋一氏

日時:6月12日(木) 参加費:2,000円(懇親会費含)

講演 16時10分～17時40分 懇親会 18時～19時30分

会場: 国民會館 住友生命ビル 12階 小ホール

大阪市中央区大手前2-1-2

切望される大学改革支援を推進中 支援メニュー提案と友好協定締結

担当理事 山崎健一郎

平成25年度の大学支援事業の活動は「大学改革支援プロジェクト」を発足させてスタートした。メンバーは、KIACと各団体から次の7名の方をお願いした。KIAC 大槻眞一、野田浩志、成田欽史郎、山崎健一郎 産業人OBネット（竹内信亮） KSTC（松下賢二） チャレンジ企業支援隊（岡田佳久）の7名でこれまでに8回の会合を開催し「大学への支援メニュー」の作成と大学への提案活動を推進して来た。10月25日には羽衣国際大学（堺市）、大阪府中小企業家同友会とKIACで地域振興・人材育成・グローバル化対応などで包括的連携に関する友好協定を締結した。具体的には、同友会会員



会社での春季のインターンシップの受入が実現し、同友会メンバーの大学訪問と交流も実施した。

キャリア教育への講師派遣等、継続的に三者で協議を重ねている。大学への提案活動は、他に3大学に対して既に実施した。

平成26年度は、提案活動の継続と合わせてキャリア教育の支援等も推進して行きたい。

専門家紹介事業

担当理事 野田浩志

KIACの構成団体には約250名の企業OB等が現役時代に培った様々の業界・専門分野で経験、知識、技術、人脈を生かして中小企業の経営課題を支援しています。右表はその250名の専門分野別の専門家数です。

(注)一人の専門家が複数の専門分野をカバーしているので合計専門分野数は250を越えることをご留意ください。

ご相談はKIAC事務局、阪南大学中小企業ベンチャー支援センター、公的な支援機関や金融機関を含む認定支援機関などにご一報ください。近畿各地に活動拠点を置く会員6団体と連携して対応します。

専門分野別専門家数

専門分野	専門家数
経営企画・戦略立案	135
販売・マーケティング	147
物流管理	36
法務・特許	17
情報化・IT活用	18
生産管理・生産技術	151
海外調達・国際化	98
技術・製品開発	91
経理・財務管理	45
各種サービス	15
人事・労務管理	75
各種連携	14

「スモール イズ ビューティフル」

代表理事 大槻眞一

ボン生まれの経済学者シューマッハーが「人間は小さいものである。だからこそ、小さいことは素晴らしい事である。」(small is beautiful)と述べたのは1971年のことである。

シューマッハーは、仏教経済学を唱え、早くから石油危機を予言していた。

いま、アベノミクスの第3の矢である「成長戦略」は、その柱の一つに中小企業の開業率10%を目指すとともに、黒字経営の中小企業の倍増を掲げている。本格的な、安定した経済発展と、自立的な地域経済の確立には、中小企業の振興が欠かせないことを示している。いまや中小企業の役割はますます重要となってきている。まさに「スモール イズ ビューティフル」は、時の声である。

KIACの中小企業支援も、これからいよいよ本番を迎えると考えます。

ところで、余談ではあるが「スモール イズ ビューティフル」という名言は、シューマッハーよりもはるか昔、我が国の清少納言が説いている。彼女の「枕草子」には「雛（ひひな）の調度。蓮の浮葉のいとちいさきを、池よりとりあげたる、葵のいとちいさき。なにもかも、ちいさきものはみなうつくし」とある。「スモール イズ ビューティフル」は借り物ではない。